

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科・経営戦略専攻
大項目	2 教育課程等
中項目	
小項目	2.0.1 学習目標
要素	学習目標をシラバス等に明記し、学生に周知公表をしているか。 学習目標の達成のために、授業科目履修指導指針を定め、履修相談に応じる配慮をしているか。 学習目標の達成のために、学生、教員及び職員間のコミュニケーションシステムを構築し、学習相談及び学習助言の円滑化を図る方策をとっているか。
小項目	2.0.2 教育課程
要素	教育課程の編成において、「教育研究上の目的」を達成する理論的教育と実務的教育の架橋に留意し、マネジメントの教育研究及び実務の動向に配慮しているか。 教育課程の編成において、企業等組織のマネジメントに係る高度専門職業人育成に必要な高度の専門的知識・技能と高度の職業能力の修得、職業倫理観の涵養及び国際的視野の拡大に配慮しているか。 教育課程の体系的な編成において、マネジメント教育に必要なコア科目への分類を含めて体系的に配置しているか。 教育課程を検証するプロセスを明確に定め、継続的に検証しているか。 他研究科の授業科目の履修、他大学との単位互換、インターンシップによる単位認定等の措置を講じているか。 授業の方法において、実践的な教育を行うために事例研究、現地調査、双方向又は多方向に行われる討論又は質疑応答その他の適切な授業の方法を導入しているか。 授業の方法において、多様なメディアを高度に利用して通信教育の授業を行う場合には、授業の実施方法の整備に努め、教育効果の向上に努めているか。
小項目	2.0.3 教育水準
要素	教育内容の水準を維持していくために、学習環境及び学習指導体制を整備しているか。 教育内容の水準を維持していくために、1単位の授業科目の学修に必要なとされる授業時間を確保しているか。 教育内容の水準を維持していくために、授業科目の時間割配置を適切にし、授業科目の履修登録単位数の上限を設定し、授業科目の履修を適切にする指導をしているか。 教育内容の水準を維持していくために、履修した授業科目の学業成績の評価基準及び教育課程修了の判定基準を明確に定め、学則等に記載し、学生に周知公表しているか。 教育内容の水準を維持していくために、学業成績の評価及び課程修了の判定を公正に実施し、客観性と厳格性が得られる措置を講じているか。 教育内容の水準を維持していくために、授業科目の履修登録の学生数を、授業の方法等の教育上の諸条件を考慮して授業の教育効果が十分に得られる適正な数としているか。 教育内容の水準を維持していくために、留学生等の学生の多様化に対応した履修指導、学習相談及び進路指導等の学生支援を適切に行っているか。また、通信教育を行う場合には、十分に配慮した学生支援を適切に行っているか。 教育内容の水準を維持していくために、学生の科目履修及び単位取得の状況等についての情報を教員間で共有し、必要な改善措置を講じているか。 標準修業年限を短縮している場合には、「教育研究上の目的」に照らして、十分な教育成果が得られる教育方法及び授業時間割設定の配慮をしているか。
小項目	2.0.4 教育研究の質維持向上の取組
要素	開講する各授業科目の授業目的、授業内容、授業計画、授業方法、使用教材、オフィスアワー及び授業評価基準等を明記し、学生の学習目標の達成に資する内容のシラバスを作成し、公開し、ビューアーレビューによるシラバスの検証をしているか。 学生の科目履修状況、課程修了状況、単位取得状況、学業成績状況及び進路状況等の調査から、また、ステークホルダーの意見等から、教育課程の改善の検証をしているか。 教育研究の質維持向上を図るために、自己点検評価を継続的にを行い、その評価結果を広く社会に公表しているか。 教育研究の質維持向上を図るために、自己点検・評価の結果をフィードバックし、教育研究の質の維持向上及び改善を図る組織的な研修をしているか。 教育研究の質維持向上を図るために、教員の優れた教育及び研究の業績を評価する制度を整備しているか。

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. Organize the curriculum, in terms of time and contents, so that it would be easier for the working students to take classes. 多忙な社会人学生が受講しやすいような時間と内容に配慮したカリキュラム体系の整備	→Provide the courses by e-learning, establish the courses conducted mainly on Saturdays and Sundays, and provide the pre-courses before entrance for students to learn mathematics, statistics, and to learn how to use PCs. eラーニングでの科目提供や土日集中履修コースの設置と入学前の主として数学・統計学とパソコン操作等に慣れるためのプレコースの提供	D	C	B	B	B
2. Adjust curriculum to maintain a good balance between rigor (academic theory) and relevance (practical application) of the content of our courses. (カリキュラムを改善し、授業内容のrigor(学術的理論)とrelevance(実践)の良いバランスを維持する)	→Examine curriculum to determine appropriate balances of rigor and relevance. (rigor及びrelevanceの適度なバランスを保つため、カリキュラムを検討する。)	A	A	A	A	A

<p>3. Examine courses and adjust number and type of electives. (授業科目の検討と選択科目の数・種類の調整を行う)</p>	<p>→Examine the overall number of our elective course offerings and add and delete where necessary. (アドバンスド科目全体の数の検討。必要に応じて追加・削除。)</p>	⇒	B	B	B	A	A
<p>4. Examine our main courses and adjust the sequencing where necessary. (主だった授業科目の検討と履修ステップの調整を行う)</p>	<p>→Examine the core and basic courses and where necessary and possible introduce prerequisites and sequencing. (コア及びベーシックの検討。必要に応じて先修条件科目と履修順を導入。)</p>	⇒	C	C	B	A	A
<p>5. Develop the option of having Japanese language and Japanese business/management as a more prominent part of our curriculum. (カリキュラム内で、日本語及び日本型ビジネス・日本型経営への理解を深められる選択肢を開発していく。)</p>	<p>→Examine the number of courses offered on the Japanese business environment and work with other units of Kgu to develop options for Japanese language courses for our students. (日本型ビジネス環境に関する科目数を検討し、大学内の他学部と協同で日本語クラス履修の選択肢を準備する。)</p>	⇒	C	C	B	B	B

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	⇒	2009	2010	2011	2012	2013
	→	⇒	/	/	/	/	/
	→	⇒	/	/	/	/	/

《進捗状況(達成度)報告》 **担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。**

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

<p>目標1</p>	<p>B</p>	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 基礎数学・コンピューターリテラシーなどを学ぶ入学前準備講座を開講した。時間割においても、週末に開講するコア科目を増やした。「LUNA」という教授者・学習者支援システムを導入し、授業資料の事前提供や授業担当者からお知らせの配信など、授業外でのコミュニケーションが取れるよう配慮している。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 入学前準備講座を受講した学生の反応は良く、入学後スムーズに学習を始める土台となっている。しかしながら1日の開催に対して、内容がやや多い傾向がある。 また「LUNA」によって、予習・復習や欠席時のフォローなどができるようになった。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 週末および集中講義期間に履修できる科目を増やし、より社会人学生が通いやすい時間割を目指す。</p> <p>その他</p>	<p>☆</p> <p>☆</p> <p>☆</p> <p>☆</p>
<p>目標2</p>	<p>A</p>	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 各教員が担当科目授業における理論と実践の適性バランスに注意を払っている。カリキュラムを改訂する際もバランスを意識している。特に企業経営戦略コースにおいては、「自治体・医療・大学経営プログラム」を開講するにあたり、理論科目だけでなく事例研究などの実践科目を開講した。またアカデミック教員と実務家教員がバランス良く在籍しており、各教員が自らのバックグラウンドを活かした講義を行っている。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 理論と実務のバランスを取ることが、カリキュラム設計や教員の採用、そして授業計画においても浸透しており、本研究科の特徴として確立してできたことが成果である。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後もカリキュラムの改訂や科目新設時には、バランスを意識する。</p> <p>その他</p>	<p>☆</p> <p>☆</p> <p>☆</p> <p>☆</p>

目標3	A	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 履修者数と授業評価アンケート結果を元に、アドバンスト科目の追加・削除について検討した。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か アドバンスト科目を追加・削除し、さらに企業経営戦略コースでは「自治体・医療・大学経営プログラム」を開設し、大幅なカリキュラムの改訂を行った。「自治体・医療・大学経営プログラム」の中で、医療・大学経営に関わる科目はまだ十分に展開できていないため、授業評価アンケートを参考にしながら、充実させる必要がある。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 引き続き、履修者数と授業評価アンケート結果を元に検討を続け、適宜、科目の追加・削除を行う。</p> <p>その他</p>	☆ ☆ ☆ ☆
目標4	A	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか ベーシック科目とアドバンスト科目に跨る構造を廃止、明解に区分した。またベーシック科目群の中において、系統を分類した。さらに「学生の手引き」で各プログラム内の科目体系について明示した。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か カリキュラムに関する問い合わせが減ったこと、またオリエンテーションにおいても説明が容易になった。また、学生の誤解が減り、より体系的に授業科目を履修することができるようになった。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後も科目を追加・削除する際は、その位置づけを明示するように配慮する。</p> <p>その他</p>	☆ ☆ ☆ ☆
目標5	B	<p>Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか Japanese Economyなどの日本型ビジネス・経営を学ぶことができる科目を準備し、また日本企業に勤務する社会人学生とのディスカッションを企画したハイブリッド科目を開設した。</p> <p>Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か ハイブリッド科目では、企業経営戦略コースの社会人学生と国際経営コースの留学生がディスカッションすることを通じて、日本型ビジネス・日本型経営について相互に客観的に学ぶことが可能となった。</p> <p>Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 全学科目として開講されている日本語科目の履修が、時間割の制約によって妨げられているので、履修できるよう配慮した時間割を検討する。</p> <p>その他</p>	☆ ☆ ☆ ☆
備考			☆